

大阪教区宗祖親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要



ちいちの華

# 仏華展

日時：4月17日(木)～20日(日)

9:00～18:00

(20日のみ17:00まで)

場所：難波別院

御堂会館 2階 F ホール

大阪府中央区久太郎町 4-1-11

大阪メトロ「本町駅」

13番出口より南に50m

入場  
無料

どなたでも御覧いただけます

仏華研究会 ちいちの華

お問い合わせ：大阪教務所(06-6251-4720)

事務局：即念寺(洲崎善範)門真市小路町24-17/06-6908-3928



仏華は、「その華、光明、無量種の色なり、青き色には青き光、白き色には白き光あり」（『仏説無量寿経』）と説かれるごとく、浄土の莊嚴を顕わし、かつ仏心の「清浄」すなわち清く穢れのないことを具現していると言われます。

それは私たちの日頃の欲に追われる「食欲」の姿に対比するものです。「食り」とは「ためこみ、とどめる」ということで、その反対が「清浄」であるならば、うつりかわり、とどまることなく、流れていくことが「清浄」ということでしょう。このまま、今のままを許さないということが、清らかで穢れないものとして表現されているのが、生花を用いる仏華なのです。

今回の教区慶讃法要にて「ちいちの華」は、難波別院内陣の立華はもとより、会場での歓迎花、そして仏華展と、さまざまな場所で「阿弥陀仏の微妙なる法」としてのお花で慶讃法要を飾らせていただいております。また仏華展では大谷派仏華の源流たる池坊のお花も特別に展示しております。ぜひみなさまお誘い合わせの上、ご覧くださいませようご案内申し上げます。

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

みんなに 願いがかけられている

### 「ちいちの華」について

私たちは、主に大阪教区の僧侶をメンバーとした仏華の研究会です。移りゆく季節感を味わい、ひとつひとつの役枝やお花を大切に扱う池坊の流儀を踏まえつつ、楽しくそして気軽に立てられるよう工夫し、私たち一般寺院の本堂にみあった仏華を研鑽しています。主な活動としては教区内別院（難波・天満・茨木）の報恩講の立華、御遠忌・落慶法要等への出張立華、ならびに仏華講習会への講師の派遣などを行っています。下記のとおり SNS でも発信しています。ぜひご覧ください。

FaceBook



Instagram



YouTube

